

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成27年度 講義要目(シラバス)

科目名	情報通信先端演習
英文名	Advanced Topics on Information and Communication
学部学科	先端科学技術研究科 情報通信メディア工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	鈴木 剛

目的概要	<p>研究テーマを軸として、情報通信ネットワーク、ロボティクス、マン・マシン・インタラクションなどに関連する知識・技能を幅広く習得するとともに、将来、研究者として自立するための基礎力と応用力を身に付ける。</p> <p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各先端科学技術の調査と分類整理。 研究テーマに関連する先端科学技術の内容理解と比較検討。 研究目標達成に必要な装置機器・ソフトウェア開発などにおけるシステム設計・試作・統合・評価方法の調査・検討と関連技術の習得。
教科書名	研究テーマに応じて必要時に資料を配布する。
参考書名	必要時に指示する。
評価方法	個別およびグループでのミーティングによる発表と試問、関連機器・ソフトウェア開発における設計・開発のアプローチや工程管理、製作物の評価方法等の技能面と、研究活動全体を通しての取り組み態度などを総合的に評価する。
テーマ・内容	<p>概ね次の内容を通し、上記目的を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> IEEE Journal of Robotics & Automation、機械学会論文誌、情報処理学会誌、電気情報通信学会誌、ロボット学会誌などの関連論文調査、情報収集、比較検討、評価、および、それらのまとめとプレゼンテーション。 研究関連分野の調査を基にした、研究テーマの核となる課題群の選定。 課題を解決する新たな手法等の検討と提案。 研究計画の立案、実行、修正。 研究テーマに関連する装置機器やソフトウェアのシステム設計・開発方法やシステム統合方法などの調査・検討、および、設計・製作。 設計・製作したシステムの機能評価方法の検討と、それに基づく実験および結果の評価。 提案手法の評価方法の検討と、それに基づく実験および結果の評価。 研究成果の公表方法の選定、および、成果の公表。 研究室の修士および学部の学生への助言と研究補助。 共同研究等の研究協力体制の構築作業。 学会等での委員会活動。
E-Mail address	suzuki@c.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> 調査・検討、システム設計・製作・評価、報告、相談などは自ら積極的に行う。 研究テーマの範囲を明確にしつつ、調査・検討は分野にとらわれず広く横断的に行う。